医療

kenko@asahi.com

火曜掲載

どうしました

O脚がひどく、ひざが痛む

高校2年の長男。小学5年生ごろからO脚になり始め、だんだんひどくなっています。最近は20分ほど歩くと、ひざが痛むそうです。部活動でのテニスには支障がないようです。これまで診察は受けていません。治す方法はありますか。日常生活での注意点は何ですか。（大阪府・F）

Q　O脚は診察を受けたほうがいいですか。

A　まっすぐ立って、左右のひざがつかないことを一般的にO脚と言います。ほとんどの場合、病気ではありません。痛みや生活に支障があれば、受診を勧めます。相談者は念のため、ひざの痛みの原因を調べたほうがいいでしょう。ひざの半月板や軟骨のほか、股関節が悪くてひざに痛みが出る場合もあります。

Q　O脚になる原因は。

A　赤ちゃんはもともとO脚です。その後、両足の内側のくるぶしがつかないX脚を経て、通常は7歳ごろにまっすぐになります。ただし個人差があるので、O脚になる人もいます。その度合いは小学生くらいで決まります。高齢者は、ひざの軟骨がすり減って、O脚がひどくなることがあります。

Q　相談者は高校生になってひどくなったそうです。

A　この年齢でO脚が進むことはめったにありません。しかし、部活動ができているようなので、それほど心配することはなさそうです。

Q　O脚は治りますか。

A　骨の形の問題なので、基本的には治りません。変形がひどく、生活に支障がある場合は手術も考えられます。すねの骨に切り込みを入れるなどして、曲がりを矯正します。手術は全身麻酔で1～2時間かかり、4週間前後の入院が必要です。

Q　くらしの中で注意することは？

A　O脚を自己流で矯正しようとすると、関節などを傷める恐れがあります。肥満だとひざに負担がかかるため、適正な体重を保つようにしましょう。過激なスポーツでひざに過度の負担をかけないことも大切です。

答える人

佐粧（さしょう）　孝久（たかひさ）さん
千葉大大学院准教授（整形外科学）＝千葉市中央区

質問には連絡先を。回答は紙面に限ります。メールkenko@asahi.com　〒104・8011　朝日新聞科学医療部　ファクス　東京03・3542・3217　大阪06・6201・0249

子宮移植　課題は

研究会、国内実施を議論

生まれつき子宮がなかったり、病気で子宮を失ったりした女性に、第三者の子宮を移植する「子宮移植」は可能なのか。実現への課題を検討する研究会が発足した。海外では移植に成功し、出産をめざして受精卵を子宮に戻す段階まで来ている。日本での実施には、技術の確立だけでなく、提供者の選び方など倫理的な議論が欠かせない。

動物実験で技術検討

対象となるのは、先天的に子宮がないロキタンスキー症候群のほか、がん治療や出産後の大量出血で子宮を摘出するなど、子宮がないために妊娠できない女性だ。国内では20～30代だけでも推計6万～7万人。子宮を提供するのは、移植を受ける女性の親や姉妹らが想定されている。

「子宮がないことで結婚をためらったり、女性としての喪失感に悩んだりする例も少なくない」。3月に設立された「日本子宮移植研究会」の代表幹事を務める慶応大学産婦人科の木須伊織助教は語る。

子宮のない女性が、自身の卵子で子どもを持ちたいと思った場合、海外では代理出産もある。しかし、国内では認められていない。2009年、産婦人科医や形成外科医らが集まり、子宮移植が技術的に可能かを検討する研究が始まった。

研究チームはヒトへの応用に向け、体重3～4キロのカニクイザルを使った実験を続けている。12年には、子宮を摘出後に再び元の位置へ戻したサルから健康な赤ちゃんが生まれた。子宮移植後の出産は、霊長類で世界初という。

ヒトでも、手術の方法は基本的にサルと変わらない。木須さんは「カニクイザルの血管の直径は1ミリ未満なのに比べ、ヒトの血管は2ミリ前後ある。血管をつなぐことに関しては、ヒトの方が簡単な可能性がある」と説明する。

ただ、移植後の管理法にはわかっていない点も多い。他人から臓器の移植を受けた場合、拒絶反応を防ぐために妊娠中も免疫抑制剤を使い続けなければならない。日本移植学会理事長の高原史郎・大阪大教授は「免疫抑制剤によって赤ちゃんに奇形が出る可能性は否定できない。だが、腎移植や肝移植を受けた女性の出産は増えており、以前に比べてリスクは下がっている」と指摘する。

7月までに倫理指針

子宮移植の研究は、欧州やアジアなど世界10カ国以上で取り組まれている。

先頭を走るのがスウェーデンだ。イエーテボリ大のマッツ・ブレンストレム教授のチームは12年以降、臨床研究として、計9人の女性に母親や親類の子宮を移植した。うち7人が成功し、全員に受精卵が戻された。妊娠に成功したかどうかは明らかにしていない。成功していれば、年内にも世界初の「子宮移植ベビー」が生まれる予定だ。

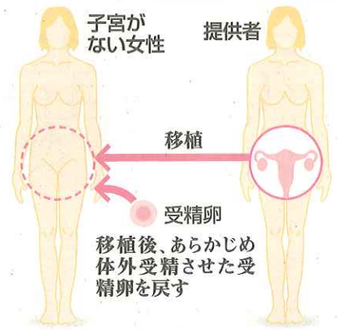
ブレンストレムさんによると、自治体の倫理委員会が子宮移植を認める条件として、安全性に問題が出た場合はすぐに臨床研究を中止することや、出産に成功しなかった場合は動物実験に戻ることなどが示されたという。「失敗すれば再挑戦まで5年はかかる。それだけ慎重さが求められる」と述べた。

研究会理事長を務める京都大の菅沼信彦教授（生殖医療）は、日本で子宮移植を議論する際には、生命の存続に不可欠ではない臓器を移植する是非や、提供者に与える身体的なリスクなど、様々な倫理的課題があると指摘する。「子宮移植を勧めるのではなく、あくまで選択肢の一つとして示せるかどうかを議論したい」と語る。

菅沼さんらは7月末までに倫理指針をまとめ、日本産科婦人科学会や日本移植学会など関連学会でも内容を議論してもらう。8月には市民公開講座を開き、子宮移植の現状や当事者の声などを伝える計画だ。

（岡崎明子）

子宮移植の方法



世界各国の子宮移植の現状

サウジアラビア
2000年、26歳の女性に第三者が子宮を提供。失敗し、摘出

トルコ
11年、死亡した人から21歳に移植。13年に妊娠したが、流産

スウェーデン
12～13年、27～38歳の9人に移植、うち7人が成功、受精卵を戻す

日本
09年から動物実験。14年に日本子宮移植研究会を設立

1分で知る豆医学

歩く① 秒速1メートルで黄信号

踏切内で電車にひかれ、84歳の女性が亡くなった。そんな痛ましい事故が、1月に神奈川県で起きた。杖をつきながら踏切を歩いていたらしい。

83歳で亡くなった私の祖父は、晩年歩くのが遅くなった。片側1車線の横断歩道を青信号のうちに渡りきれず、クラクションを鳴らされている姿を何度か見かけた。

国立長寿医療研究センター所長の鈴木隆雄さんによると、歩く速度は高齢者の健康度を測る重要な指標という。秒速1メートルを下回ると、多くの横断歩道で青信号の間に渡れなくなるそうだ。

高齢者を歩行速度をもとに四つの集団に分け、5年後にどれだけ自立した生活をしているかを調べた国内の研究がある。一番速度の遅い集団が、自立レベルの低下が最も大きかった。

東京都健康長寿医療センター研究所の谷口優さんは普段の歩幅に着目する。歩幅を狭い、普通、広いの三つの集団に分けて追跡調査（平均2・7年）すると、認知機能が低下するリスクは、狭い集団が広い集団の約3倍高かった。脳の萎縮などの変化が、歩幅に表れる可能性があるという。

「老化は足から」は本当のようだ。

（武田耕太）

こだわ

サンデーとマガジン

小学館からは「週刊少年サンデー」、講談社からは「週刊少年マガジン」が同時に創刊されたんだ。現在も続いているマンガ雑誌だよ。

母の日
乳がん電話相談
5月12日(月)～16日(金)の5日間、専門医による乳がん無料電話相談を行います。現在の治療に関する悩みや誰にも相談できなくて困っている方など「乳がん」の悩みをご相談ください。
ご希望の方はお電話にてご予約ください。
☎03-3562-8015
●予約受付 4月30日(水) 午前10時～
●先着順40名様まで
がんに負けない社会をつくる。
公益財団法人
日本対がん協会
http://www.jcancer.jp/